学校だより
「One-up」通信

令和４年１月１４日（金）
水戸市立見川中学校
NO:１１（令和３年度）

スローガン「団　結　ー共によくなるためにー」

第３学期始業式

1月11日(火)、始業式が行われました。各学年の代表から新年の抱負の発表があり、校長先生の講話がありました。今年度の総まとめの時期となりました。一人一人にとって、輝かしい一年となるように、共に取り組んでいきましょう。

校長先生の講話

全員に対して　「団結する　共によくなる」ことを目指して、いよいよまとめの時期となりました。今までやり続けたことを「最後までやり切る」、学級の目標、各自の目標を忘れずに最後までやり切りましょう。

3年生に対して　不安な気持ちを、楽にするためには、「やり切った」という気持ちが大切です。時間は誰にも平等です。しかし、その使い方次第で自分の時間を確保できます。10分間の休み時間を上手に使うだけでも、1時間が生み出せます。自分はできる限りの努力を続けてきた、やり切った、という思いは、必ずプラスになるはずです。やり切ったという自信を、3学年全員で作っていきましょう。

思い出に残る素晴らしい3か月を作るのは自分です。苦労もあると思いますが、何があっても負けない自分、逃げない自分であり続けられるよう、共に頑張りましょう。

三学期の抱負

一年　倉本　樹

僕は、三学期を迎えるにあたり、三つの目標を立てました。

一つ目は、感染症対策をすることです。最近、コロナウィルスの流行でマスクや消毒を欠かせなくなりました。しかし、それに慣れてしまい、疎かになっていることがあるのに気づきました。今後は、コロナなどの感染症に危機感をもって生活していきたいです。

二つ目は、本や新聞を積極的に読むことです。読書をしていないと、国語で登場人物の感情を正確に読み取れなかったり、最近の情報をつかめなかったりするからです。だから、これからは難しそうな本でも、まず読んでみたり、新聞が届いたらすぐ読んだりする習慣をつけたいです。

三つ目は、学習方法を見直すことです。定期テストの勉強はするようにしているのですが、面倒に思ってテスト後の見直しはあまりしないことが多いです。だから、学習内容をしっかり覚えているか不安が残ってしまいました。勉強は、努力を継続しなければ、いつまでも実力がつかないことを実感しました。テストの後には、しっかり復習をして、実力をつけたいと思います。

三学期の抱負

二年　尾崎　結月

私が三学期に頑張りたいことは二つあります。

一つ目は、計画的に学習に取り組むことです。今までテストの二日前になってもワークが終わらず、焦ってしまったりと十分に勉強ができていないまま、テストに臨んでいました。そのため、点数も順位も右肩下がりでした。なので、これからはテストの一週間前にはワークを終わらせるなど計画性を持ち、勉強に取り組んでいきたいです。また、来年の受験に向けて、家庭学習時間を増やし、二年間の学習内容を一つ一つ丁寧に復習していきたいです。

二つ目は、部活動です。私は吹奏楽部の部長を務めています。しかし、今まで臨機応変に対応することができず、周りの人に助けてもらってばかりでした。なので、これからは自分のことばかりでなく、もっと周りを見て行動できるように意識していきたいです。そして、周りの人の力に頼りすぎず、逆に頼ってもらえるような部長になりたいです。また、苦手を克服し、個人の演奏技術も上げていきたいです。

最上級生としてふさわしい人になれるよう、すべてのことに全力で取り組み、二年生最後の三か月を大切に過ごしていきたいです。

新年の抱負

三年　杉野　一貴

中学校に入学してから今日で、早や、千七日が経ち、卒業式まで残りちょうど二か月となりました。残りの中学生としての日々を充実させるための抱負を二つ発表します。

一つ目は、今まで以上に時間を大切にすることです。私立入試がもう目の前まで迫っています。私立入試がもう目の前まで迫っています。五分でも十分でも多くの学習時間を確保し、多くの問題に取り組むために、朝や休み時間などの「隙間時間」を有効に活用していきたいです。

二つ目は、基本的なことではありますが、「わからないこと」を「わからないまま」にしないことです。問題を解いたらすぐに答え合わせをして、わからないところは調べたり、誰かに質問すること。受験生としての生活を通して、その大切さをしみじみと感じました。しかし、時々面倒に感じて少し手を抜いてしまうことがあります。今後は一時も気を抜かないようにするために、受験生としての意識をより強く持って勉強したいです。

以上、二つの抱負を心にとめて生活していきたいです。加えて、クラスメイトと過ごすことができる残り少ない貴重な時間を大切にし、中学校生活を笑顔で締めくくりたいです。